

# 伊勢原市資源プラスチック分別収集モデル事業

## 実証実験 結果報告

伊勢原市では、プラスチック類の資源化促進を目的として、令和8年4月から現行の「容器包装プラスチック」に加え、現在は燃やすごみとして処理している「製品プラスチック」を対象とした「資源プラスチック」（容器包装プラスチック＋製品プラスチック）の分別収集を実施します。

この事業の準備段階として、モデル地区における実証実験を通じて、排出量や組成調査、意識調査を行ったので報告します。

### 1 概要

#### (1) モデル事業実施地区（自治会）

谷戸大竹自治会、上平間台自治会、ネオハイツ自治会、木津根橋自治会（合計 585 世帯）

#### (2) 実施期間

令和7年7月（4日、11日、18日、25日）

#### (3) 収集対象

資源プラスチック（容器包装プラスチック＋製品プラスチック）

※製品プラスチック

- ・100%プラスチックのみでできているもの
- ・1番長い辺が50cm未満のもの
- ・厚さが5mm未満のもの
- ・汚れていないもの

#### (4) 実施方法

対象世帯へチラシを配布するとともに、対象集積所に看板を掲示する。

モデル地区内の集積所から排出された資源プラスチックを「容器包装プラスチック」「製品プラスチック」「異物」に分類し、それぞれの品目確認や計量を実施する。



集積所に掲示したポスター



掲示状況



組成調査

## 2 実施結果

### (1) 収集実績

項目	量	割合
容器包装プラスチック	853.13 kg	87.50%
製品プラスチック	70.04 kg	7.18%
汚れの付着した容プラ	11.77 kg	1.21%
ペットボトル	6.73 kg	0.69%
その他素材（缶・びん・紙）	1.38 kg	0.14%
その他異物（可燃・不燃物等）	31.91 kg	3.27%
禁忌品（刃物、医療系廃棄物等）	0.04 kg	0.004%
合計	975 kg	100%

### (2) 組成調査

#### ア 製品プラスチックの組成（容器包装プラスチックや異物ではないもの）

- ・100%プラスチックのみでできているもの
- ・1番長い辺が50cm未満のもの
- ・厚さが5mm未満のもの
- ・汚れていないもの

#### (ア) 日用品（26.34 kg）

バケツ、おけ、じょうろ、かご等



#### (イ) キッチン用品（9.78 kg）

食品保存容器、お弁当箱、コップ、ストロー、カトラリー（スプーン・フォーク）等



(ウ) 文房具 (8.08 kg)

クリアファイル、ブックスタンド、ファイル、名刺入れ等



(エ) ハンガー (5.42 kg)



※金属部分なし

(オ) 袋類 (3.18 kg)

ジッパー付き保存袋、ショップバッグ等



(カ) おもちゃ (2.54 kg)



(キ) その他 (12.66 kg)

結束バンド、園芸用品、ビニール手袋、ビーズ (枕やクッションの中身) 等



イ 異物の組成 (容器包装プラスチック及び製品プラスチックではないもの)

(ア) 汚れの付着した容プラ



(イ) ペットボトル

(ウ) その他素材 (缶・びん・紙)

(エ) その他異物 (燃やすごみ・不燃物等)

木の板、生ごみ (きゅうり、うどん、生卵等)、使用済みおむつ、たばこ、浄水器等

(オ) 禁忌品 (刃物、医療系廃棄物等)

かみそり



### 3 アンケート調査

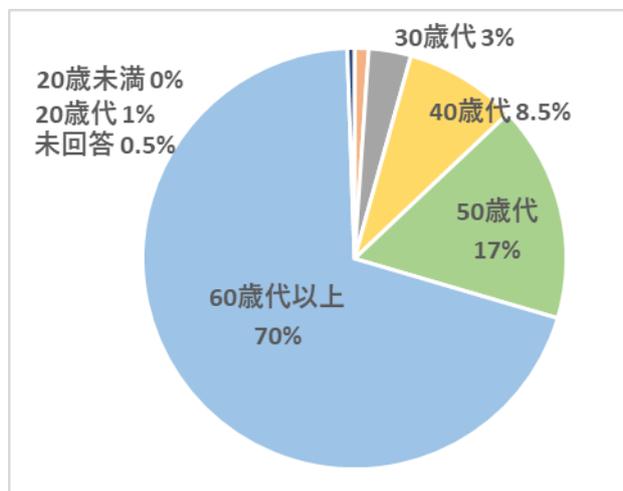
#### (1) 実施概要

調査方法：専用の回収袋に入れ、排出時にごみ袋の外側に張り付ける方法  
集合住宅内のボックスへ提出  
専用HPからのWEB回答  
実施時期：令和7年7月（4回）  
対象：585世帯  
回答数：186件

#### (2) 集計結果

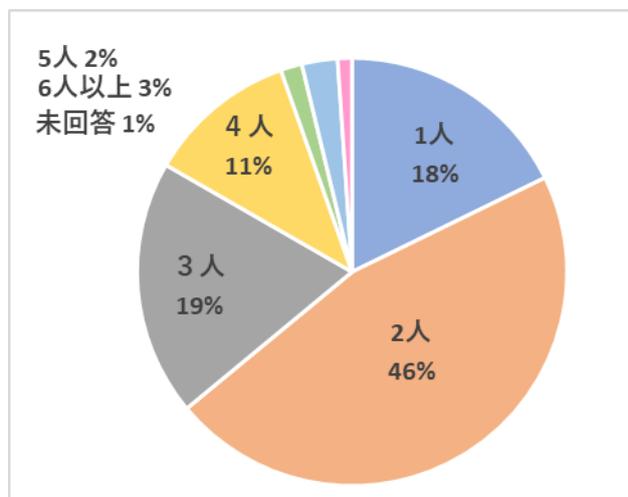
1. あなたの年齢は、次のどれにあたりますか【○は1つ】

1	20歳未満	0	0%
2	20歳代	2	1%
3	30歳代	6	3%
4	40歳代	16	8.5%
5	50歳代	31	17%
6	60歳代以上	130	70%
	未回答	1	0.5%
	計	186	100%



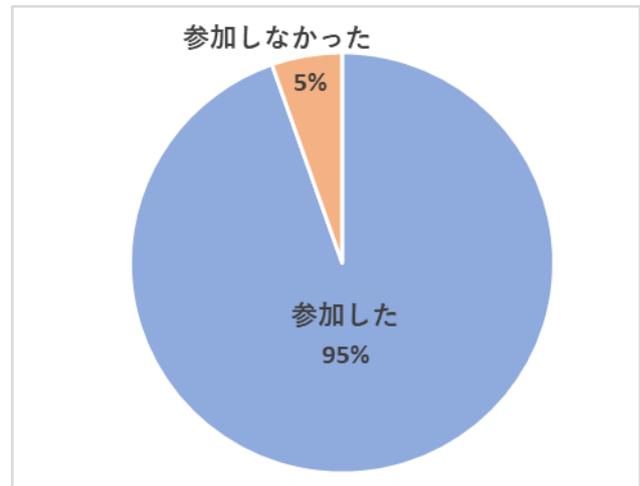
2. 回答者ご本人も含む世帯人数は、次のどれにあたりますか【○は1つ】

1	1人	33	18%
2	2人	86	46%
3	3人	36	19%
4	4人	21	11%
5	5人	3	2%
6	6人以上	5	3%
	未回答	2	1%
	計	186	100%



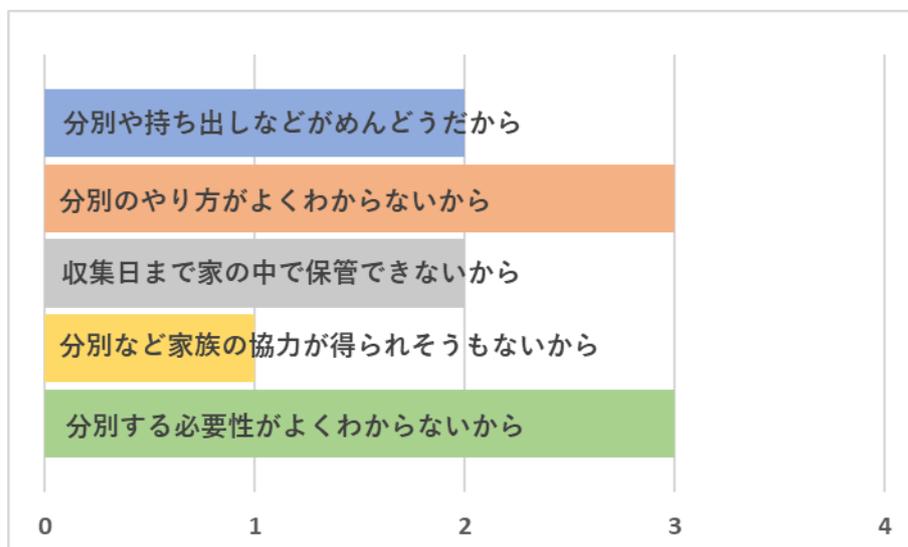
3. 今回の資源プラスチック分別収集モデル事業には参加しましたか【○は1つ】

1	参加した	176	95%
2	参加しなかった	10	5%
	計	186	100%



4. (参加していない方のみ) 参加しなかった理由をお聞かせください【当てはまるものすべてに○】

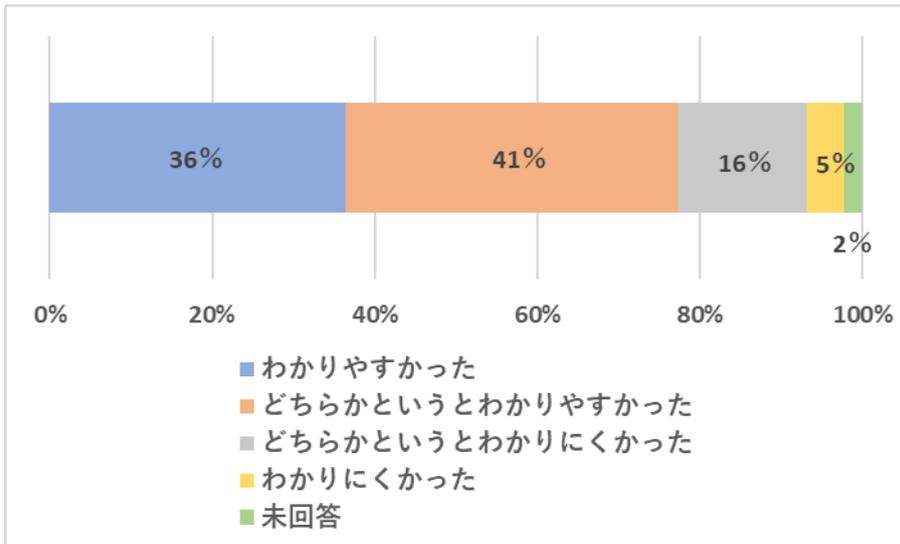
1	分別や持ち出しなどがめんどうだから	2
2	分別のやり方がよくわからないから	3
3	収集日まで家の中で保管できないから	2
4	分別など家族の協力が得られそうもないから	1
5	分別する必要性がよくわからないから	3



5. (参加した方のみ)

容器包装プラスチックのみを収集する分別方法と比べて、今回のモデル事業のようにプラスチックを一括で収集する分別方法はわかりやすかったですか【○は1つ】

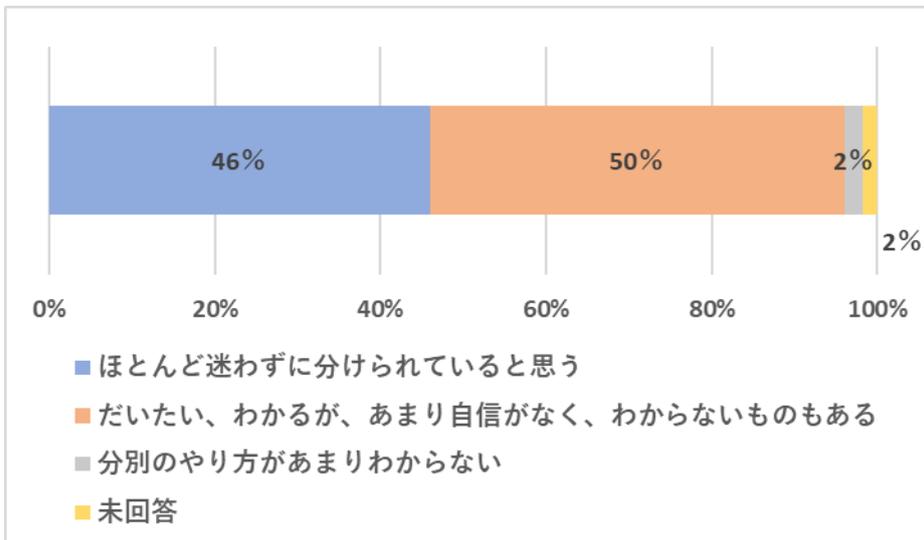
1	わかりやすかった	64	36%
2	どちらかというとわかりやすかった	72	41%
3	どちらかというとわかりにくかった	28	16%
4	わかりにくかった	8	5%
	未回答	4	2%
	計	176	100%



6. (参加した方のみ)

資源プラスチックの分別はどれくらいできましたか【○は1つ】

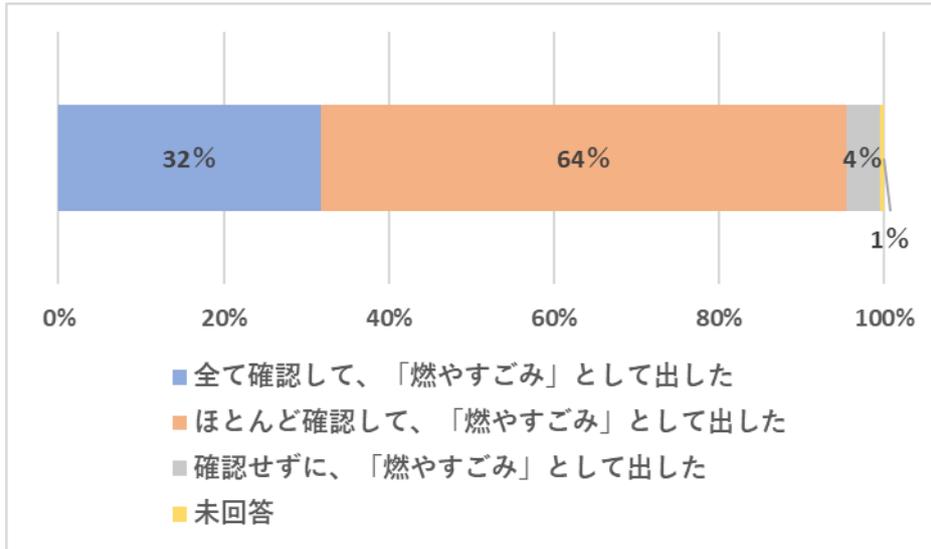
1	ほとんど迷わずに分けられていると思う	81	46%
2	だいたいわかるが、あまり自信がなく、わからないものもある	88	50%
3	分別のやり方があまりわからない	4	2%
	未回答	3	2%
	計	176	100%



7. (参加した方のみ)

プラスチック以外のもの(ゴムや金属など)が含まれている物についての確認・分別状況をお伺いします【○は1つ】

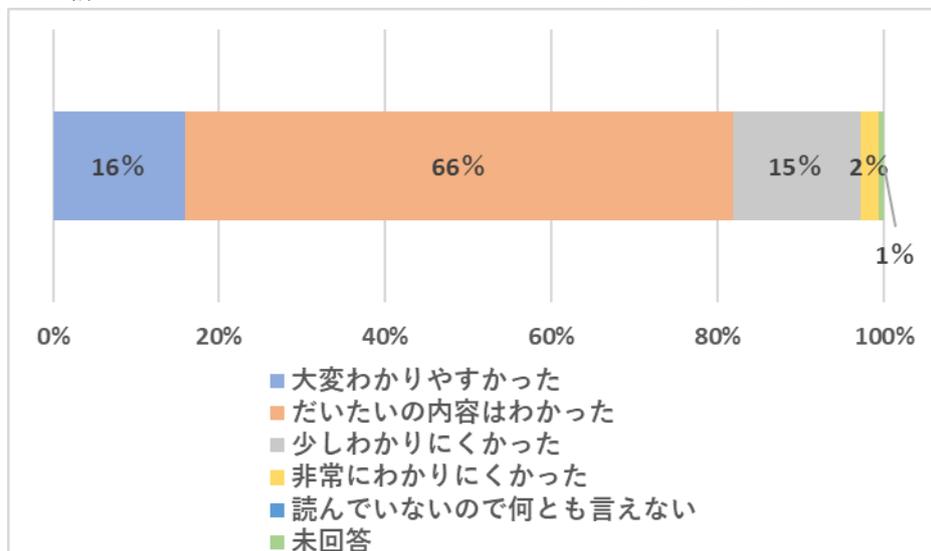
1 全て確認して、「燃やすごみ」として出した	56	32%
2 ほとんど確認して、「燃やすごみ」として出した	112	64%
3 確認せずに、「燃やすごみ」として出した	7	4%
未回答	1	1%
計	176	100%



8. (参加した方のみ)

チラシの内容はわかりやすかったですか【○は1つ】

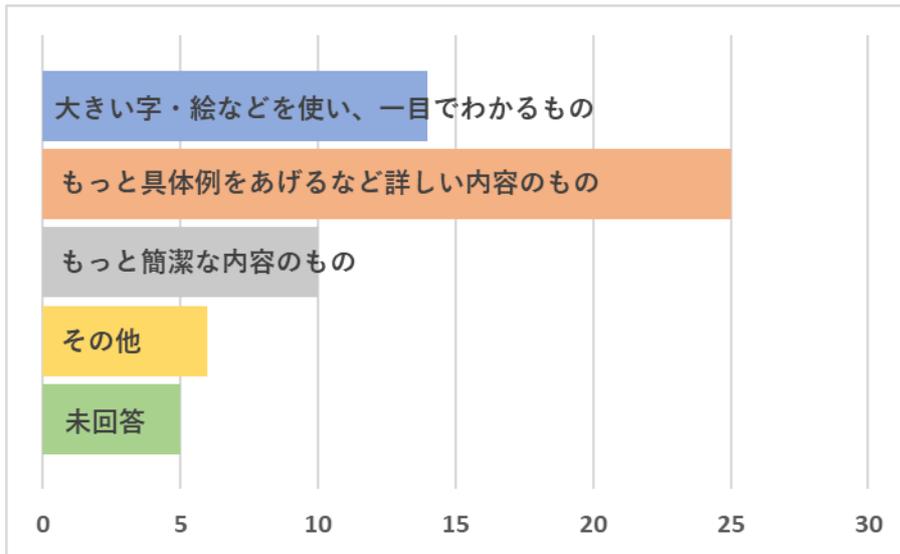
1 大変わかりやすかった	28	16%
2 だいたいの内容はわかった	116	66%
3 少しわかりにくかった	27	15%
4 非常にわかりにくかった	4	2%
5 読んでいないので何とも言えない	0	0%
未回答	1	1%
計	176	100%



9. (8で少し・非常にわかりにくかったを選んだ方のみ)

どのようなものがわかりやすいと思いますか 【当てはまるものすべてに○】

1	大きい字・絵などを使い、一目でわかるもの	14
2	もっと具体例をあげるなど詳しい内容のもの	25
3	もっと簡潔な内容のもの	10
4	その他	6
	未回答	5



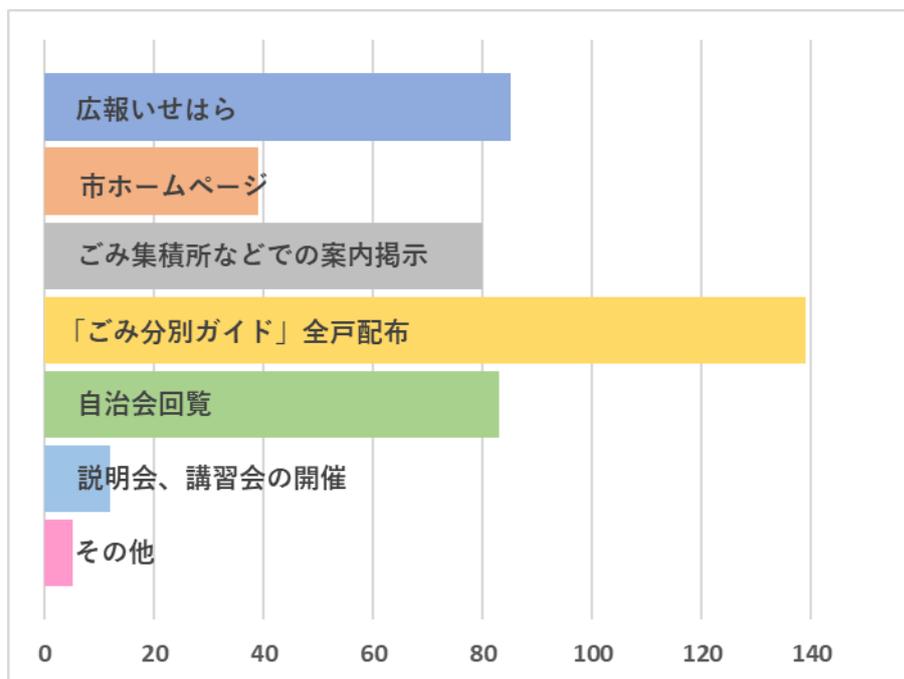
(その他の主な回答)

- ・今回、なぜ一緒に入れるのか最初わからなかった。
- ・大きさの制限があるが、小さくして出すのは良いのか。
- ・資源プラを洗って出す意味がわからない。
- ・回収品以外の出し方が不明確。
- ・お弁当の粘着テープやシールはどうするのかわからない。

10. (参加した方のみ)

資源プラスチック分別収集を市全域で導入する際に、市民の方への周知方法として効果的な手法は何だと思いますか【当てはまるものすべてに○】

1	広報いせはら	85
2	市ホームページ	39
3	ごみ集積所などでの案内掲示	80
4	「ごみ分別ガイド」全戸配布	139
5	自治会回覧	83
6	説明会、講習会の開催	12
7	その他	5



(その他の主な回答)

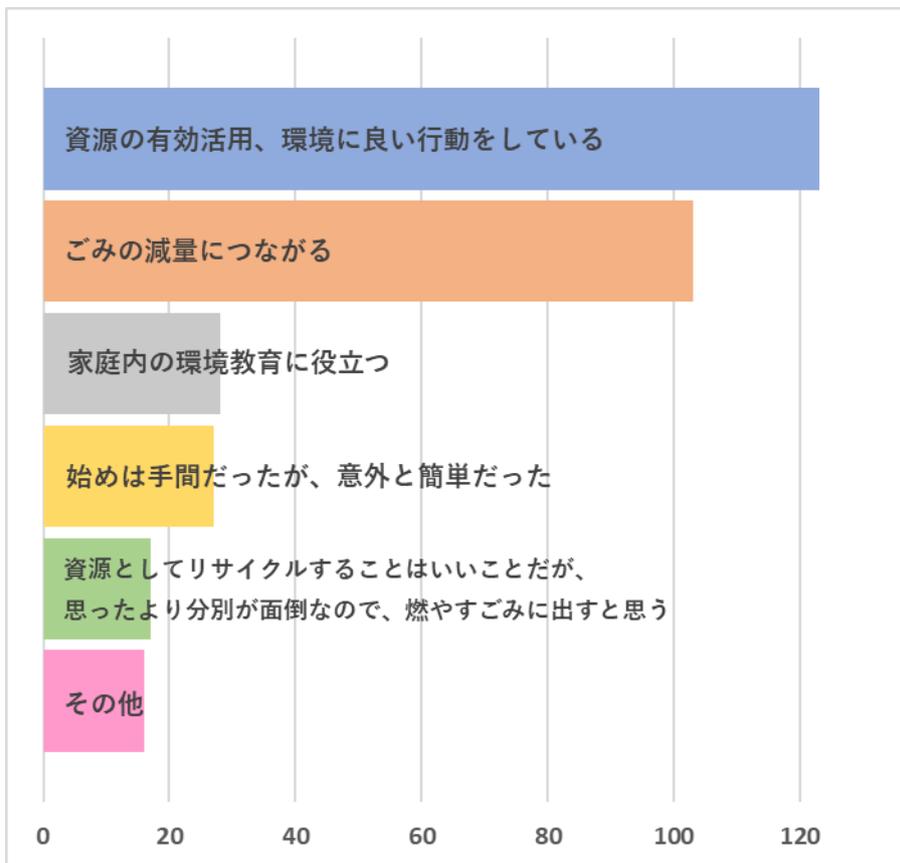
- ・回覧は周知に時間がかかる。
- ・インターネットは、繰り返し目に触れやすく一定の世代に効果がある。
- ・説明会、講習会の開催は、わからない人向けにあっても良いが、「忙しい、わからない、やる気ない」人ほど行かない。
- ・小中高大学での子供たちへの周知、学校教育で伝え、できる子を育てていく。あたり前を作り上げていく。
- ・チラシ配布や学校での手紙の配布
- ・スーパーやドラッグストアにポスター掲載

11. (参加した方のみ)

資源プラスチック分別収集モデル事業に参加した感想をお聞かせください

【当てはまるものすべてに○】

1	資源の有効活用、環境に良い行動をしている	123
2	ごみの減量につながる	103
3	家庭内の環境教育に役立つ	28
4	始めは手間だったが、意外と簡単だった	27
5	資源としてリサイクルすることはいいことだが、 思ったより分別が面倒なので、燃やすごみに出すと思う	17
6	その他	16



(その他の主な回答)

○分別について

- ・PP等、容プラだと思っていたが製品プラであったことを知った。容プラと製品プラ分かれている方がわかりにくいいため、一括回収の方が良い。
- ・他の市で製品プラのリサイクルを行っている方に話を聞いた際、「対象となる物がわかりにくい」と言っていた。対象物が明確であれば良い。
- ・きちんと分別できるかは自信がない。
- ・ほとんどのプラ製品は金属と組み合わせられており、分別は実際無理ではないか。
- ・汚れのひどいものは、燃やすゴミに出す場合がある。
- ・プランターや植木鉢等は洗わなければいけないので面倒だなと思う。

#### ○リサイクルへの意見

- ・理解しやすい説明すれば、市民の協力が得やすい。なぜプラマークがついているのか、リサイクルの方法とかを知れば、汚れては×とかわかってもらえると思う。
- ・プランターなどもプラごみとして出して本当に有効活用されるのか、広報などで何度も周知することが大事だと思う。
- ・容器のプラごみも大半は燃やしているなどをニュースで聞く。
- ・本当にリサイクルされているのか疑問に思っている。どの程度リサイクルされていて、効率などを提示してもらえたら意識が高まる。
- ・参加したが、分別する必要性がわからない。

#### ○その他

- ・「家庭や外、場面や地域、TPO」で捨て方がちがうこと、そのマナーを守ることの姿勢を伝えていくことが、大切かと思います。時間と行動が必要と考える。
- ・家屋内での分別ゴミの置き場所を考えなければいけないのは大変。今後、住宅設置メーカーには提案をしてほしい。
- ・大量廃棄する企業はリサイクル徹底、一般家庭は可燃ごみ化希望。

### (3) アンケートのまとめ

回答者全体の95%が資源プラスチックの分別に取組み、「資源の有効活用」「環境に良い行動」などポジティブな感想が多く寄せられ、市民の関心や協力意欲の高さがうかがえる結果となりました。

一方で、多くの参加者が分別の方法を概ね把握できたと回答しているものの、具体的な分別について不安のある方も一定数存在することから、チラシによる情報周知は有効であったが、分別のわかりやすさについては改善する必要があることがわかりました。

## 4 事業のまとめ

組成調査やアンケート調査を通じて、市全域での分別収集開始に向けた分別方法の啓発活動や排出指導の手法などの課題を抽出することができました。

#### 【改善を要する課題】

- ・異物混入対策（容器包装プラスチック、製品プラスチックいずれにも該当しないもの）
- ・資源プラスチック以外のごみについての適正排出の周知
- ・汚れの程度の周知（プランターの汚れ（土の付着）や食品残渣の付着程度に大きな差）
- ・再資源化に適さない品目や分別が困難な品目等、収集品目の見直し  
（例えば、クッションや枕の中に入っているパイプ・ビーズは、広範囲に飛び散り、中間処理設備の機械に吸着、隙間への侵入などの故障の原因となることから「燃えるごみ」として処理する必要があることなど）
- ・幅広い世代に興味を持っていただけるような周知手法の検討
- ・分別ガイド等による分別早見表や動画等、分別ルールを学べる環境の整備
- ・分別の目的やリサイクル効果等に関する情報共有

など

今回のモデル事業の実施結果を踏まえ、市全域での資源プラスチックの分別収集開始に向けた、準備を進めてまいります。